

**製品名: SHP2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86995**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:68 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SHP2
別名	CFC; NS1; JMML; SHP2; BPTP3; PTP2C; METCDS; PTP-1D; SH-PTP2; SH-PTP3
遺伝子 ID	5781
SwissProt ID	Q06124
免疫原	ヒト SHP2 の組み換えタンパク質

**背景**

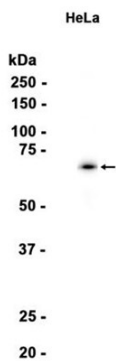
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTPは、細

胞増殖、分化、有糸分裂周期、がん化など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この PTP は、リン酸化チロシン結合ドメインとして機能し、PTP とその基質との相互作用を媒介する 2 つのタンデム Src ホモロジー 2 ドメインを有しています。この PTP はほとんどの組織で広く発現しており、分裂促進活性化、代謝制御、転写制御、細胞遊走など、多様な細胞機能に重要な様々な細胞シグナル伝達イベントにおいて制御的な役割を果たしています。この遺伝子の変異は、ヌーナン症候群や急性骨髄性白血病の原因となります。[RefSeq 提供、2016 年 8 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



SHP2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。